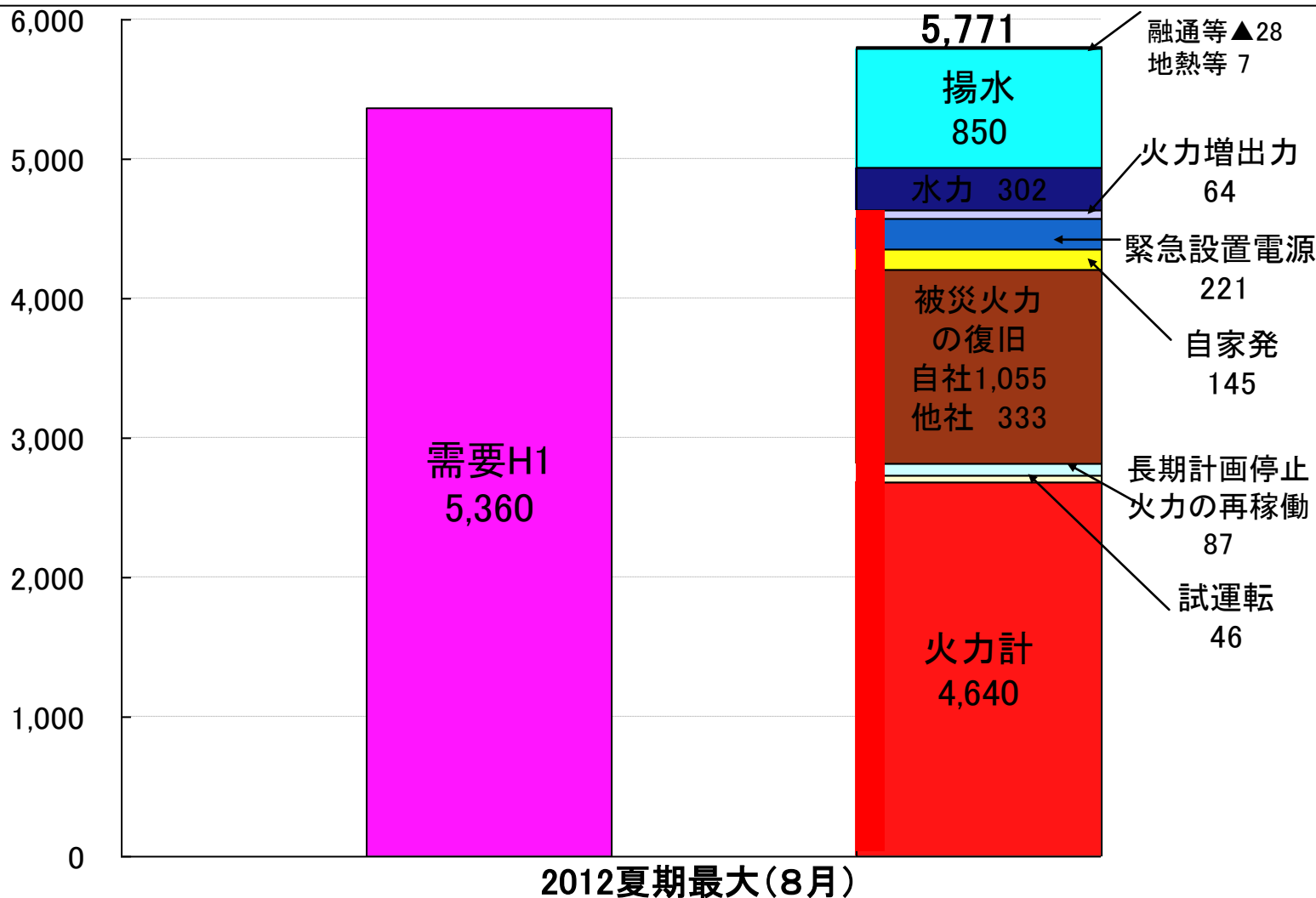


今夏の需給見通しについて

平成24年4月23日
東京電力株式会社

1. 需給見通し

■今夏は、震災以降の被災火力の復旧、ガスタービン等短工期電源の緊急設置等により供給力を5,771万kWまで確保。節電を考慮した需要見通し(5,360万kW)に対し、8%程度の予備力の確保を目指す。



2. 供給力の積上げ

<震災時> 震災により約2,100万kWの電源が停止

※震災前からの計画補修停止分約700万kWは除く



- 自社原子力は福島第一、第二で運転中の7台(650万kW)が停止
- 火力についても太平洋岸に立地する運転中の火力が被災により停止

※湾内の火力については、震災直後の週末に一部復旧(約200万kW)

<昨夏> 昨夏までに約1,600万kWの供給力を確保



- ① 被災による停止からの復旧: 自他社合計約1,280万kW
(鹿島火力, 広野火力, 常陸那珂火力など)
- ② 緊急設置電源の設置: 当社火力発電所7地点で149万kW
- ③ 長期計画停止火力の運転再開: 4台 87.4万kW(横須賀3,4T, 1,2GT)
- ④ 自家用発電設備からの追加購入: 約110万kW

<今夏に向けて> 約300万kWの供給力を追加確保

- ① 被災火力の復旧織り込み: 他社合計約110万kW
(昨年12月に相馬共同火力(新地)94万kW, 常磐共同火力(勿来)12万kW発電再開)
- ② 緊急設置電源の追設: 97万kW(H24.7)千葉3-3T(28.3万kW), 鹿島7-1~7-3T(68.4万kW)
- ③ 試運転電力の活用: 46万kW(川崎2-1T(H25.2運開予定))
- ④ 神流川2G増設: 47万kW(H24.7運開)

3. 需要見通し

<震災前>

■震災前の2010年夏は、猛暑となり最大電力は5,999万kW(7/23)を記録。



<昨 夏>

■最大電力は、前年を1,077万kW下回る4,922万kW(8/18)にとどまる。

- 春先に計画停電を経験し、さらに夏場に電力使用制限令(7/1～9/9)の発動といった特殊事情が大きく影響



<今 夏>

■今夏の最大電力(発電端1日最大)は、5,360万kW程度を見込む。

- 想定にあたっては、節電へのご協力の効果(610万kW程度)を考慮。